伝統あるお囃子を披露

４月２１日、白鷺神社境内で、上三川町お囃子連合会による花見会（稽古会）が行われました。

この花見会には、星野町長を始め連合会の会員など約60名が出席し、連合会の１年のスタート行事として、また７月に開催される「かみのかわ町おこし夏まつり」に向けて、子どもから大人まで熱心に稽古に励んでいました。

上三川町お囃子連合会の松本清会長は、「この郷土芸能を子どもたちに伝承し、町のイベントをさらに盛り上げていきたい。」と意気込みを話してくれました。

上三川町お囃子連合会は平成１７年に結成され、現在は町内の１３団体が加入しています。団体ごとに稽古を重ね、町や地域のイベントで披露するなど、お囃子の伝統と文化を次世代に伝承しています。

“上三川町と帝国繊維”災害時に備えた協定の締結

本町では、この度、消防用設備の製造販売を行う「帝国繊維株式会社」と災害時における物資の供給に関する協定を締結しました。

この協定は、地震や風水害などの大規模災害が発生した場合、同社が保有する排水ポンプや救助資機材などを町に供給し、住民の生活の安定を図ることを目的とした内容となっています。